

おおたこども日本語教室業務委託 質問回答

No.	質問内容	回答
1	<p>区立学校に通う児童生徒は、週5回、1日6～7時間程度の時間を学校で過ごすこととなりますが、こども日本語教室に通室する間、教室が開設された日の午後や、教室が開設されない曜日は、こどもたちはどのように過ごすことが想定されていますでしょうか。仕様書（案）5（2）に、週3回、1日3時間の開設とある理由がもしあれば教えてください。</p>	<p>本事業については、令和元年度に区から移管され、区が実施していた回数等を引き継いで当協会が実施しています。来日後までもない、さまざまな文化背景や家庭環境にあるこどもたちが、学校に通うための準備期間として無理なく通える開設時間に実施しています。</p>
2	<p>コーディネーターは、子どもの日本語指導にあたるのが仕様上、業務の一環とされているのでしょうか。コーディネーターの役割として期待されていることは何でしょうか。</p>	<p>コーディネーターについては、本事業趣旨に沿って、必要と判断される場合、役割・内容を定めたいえ、配置を提案してください。なお、実施に当たっては、提案内容を踏まえ、必要性や業務の内容を委託候補者と協議し決定します。</p>
3	<p>企画提案書に記載する独自提案として、仕様書（案）にある履行場所以外での教室展開の提案は可能でしょうか。</p>	<p>独自提案については、自由に提案してください。ただし、独自提案を含め、企画提案書に記載いただいた内容が必ずしも実現するものではないことをあらかじめご了承ください。</p>